

◆成人を迎えての決意◆

大人になる



西弥生町 武田 奎梧

今年、成人式の節目を迎えるにあたって、改めて自分の成長に驚くと共にこれからは一人の「大人」としての自覚と責任感を持たなければならぬと感じています。これまでの自分はどれだけ恵まれた環境にいて、どれだけ好きなことをやってこれたか、親元を離れ一人暮らしをすることで気づかされました。食事、洗濯、掃除など当たり前のようにやってもらっていたことも、今では自分でやらなければならぬため、その重要さを強く実感しています。どんなに忙しく、朝が早く、夜が遅くても嫌な顔一つせず好きなことを一杯やらせてくれた両親には、感謝の言葉しか出てきません。家庭、親戚、周りの人々の支えがあったからこそ自分だったと思います。

大人として、私が大切にしていきたいことがあります。それは「相手を認めることのできる人間になること」です。自分の軸がちゃんとありながら、相手の考えや思想、性格などを受け入れること、これが大人として他者を認めることなのだと考えています。相手の意見に対して否定から入るのではなく、かと言って全てを肯定するわけでもなく、一度受け入れて相手を認めることによって、よりよい人間関係を作り出していくのだと思います。

これから社会に出ていけば様々な壁にぶつかることになるでしょう。そんな時に思い返したいと思います。認められたければ、まず相手を認めること。広い心と強い気持ちを持って一歩一歩前進していきます。

世界を見る目を養う



町屋敷 今井 康太

新年を迎え、今年も多くの新成人がそれぞれの思いを胸にこの下諏訪の地に立つことでしょう。私たちが無事に二十歳まで成長できたことを心より嬉しく思います。また、見守ってくださいました地域の方々に感謝申し上げます。

さて、現在私は岐阜大学の学生であり、応用生物科学部に属しています。具体的には「食」についてあらゆる方面から学んでいますが、生産地の偽装や微生物の発生による食中毒など、私たちが取り巻く社会は多くの問題を抱えているように思います。問題を抱えているのは、なにも食の世界だけではありません。最近では、エボラ出血熱のような直接命に係わるような病気の蔓延まで危惧されています。

このように私たちが向き合うべき課題は多くあります。そして現段階では私たちがこれらの課題を解決することは難しいでしょう。しかし、物事に興味をもち意欲的に考えることは私にもできます。社会では今何が起きているのか、自分にできることは何か、問題解決の原点はここにあると思います。

私は生まれてから二十年しか生きていません。社会について考えるには知識が必要です。まずは様々な世界に自ら飛び込み、見聞きし、考えることを大切にしていきたいと思います。

これこそが大人への第一歩になるのではないのでしょうか。



一人前の社会人に



東町中 古谷 美里

今年私たちの学年は成人を迎えます。元気に二十歳を迎えられたことを大変うれしく思います。阪神淡路大震災が発生したのはちょうど私たちの学年が生まれたころの一九九五年、二〇一一年には東日本大震災も発生しました。たくさんの方々の方が亡くなり、もし元気でいれば私たちと同じく二十歳を迎えることができた方もその中に大勢います。今元気に生活できていることを当たり前のことだと思わず、これまで育ててくれた家族をはじめ、支えてくださった方々に感謝したいと思います。

一年前ほどの出来事になりますが、昨年の冬季オリンピックでフィギュアスケートの羽生結弦選手が金メダルを獲得し、大きな感動を与えてくれました。彼も私たちと同じく二十歳になる人たちのひとりです。新聞やテレビを通して、彼のような同年代の人が活躍しているのを見ると、今の自分の姿や生活を省みるきっかけとなり、自分にできることはなんだろうかと考えさせられます。

今の私にできることは、大学に在籍している間に多くのことを学び、今しかできないことを経験し、社会に出て役に立てるような人間に成長することだと思っています。大学では経済を専攻し、身近な経済問題から海外の経済まで幅広く学んでいます。成人したとはいえ、まだ学生生活は二年以上あり、その間は経済面も生活面もまだ家族に頼りっぱなしになります。大学に行かせてもらっていることに感謝しながら、数年後胸を張って社会に出られるよう、日々努力していきたいと思っています。

支えるために



西四王 佐藤 茜

私は今、同じ目標を持つ仲間と共に県内の短大で充実した毎日を送っています。一人暮らしを始めて自分のことは全て自分でやるという当たり前のことが、どんなに大変なことであるのか実感しました。両親に支えられて二十年生きて来られたのだと感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。この思いをきちんと伝えていきたいです。

しかし、成人を迎え社会的に大人の仲間入りをした今でも、まだまだ両親をはじめ、多くの人々に支えられて私は生きています。人は支え合って生きていくとよく耳にしますが、私もこれからは人を支える存在になりたいと思っています。そのためには自分を磨いていく必要があります。支えるといっても、直接的であったり間接的であったり形は様々ですが、今まで支えてきてもらった人を支え、またこれから生まれてくる子どもたちや地域の人々などを支えていける人を目指したいです。

そのためにはどうしたらいいのでしょうか。社会の中で自分の役割を見つけ、その役割を、責任を持って果たしていくことではないかと思っています。社会には多くの仕事がありますが、そのどれもが人や社会に密接に関わっていると思います。

私には、保育者になりたいという夢があります。人のため、社会のために自分ができることは何かを考え、行動できる大人、そして保育者になれるよう、今自分にできることを積極的に行っていくしたいと思います。